

高松市生涯学習事業の推進状況について (令和 6 年度以降実施事業)

教育委員会 教育局 生涯学習課

1 これまでの生涯学習事業の評価について

(1) 評価の概要

本市の生涯学習施策を総合的かつ効果的に推進するため、各課で実施している約100事業について、以下の手法を用いて評価していた。

(2) 評価方法

《達成度》

- A…前年度の実績を上回った（前年度実績の100%以上）
- B…概ね前年度の実績並である（前年度実績の80%以上～100%未満）
- C…前年度の実績を下回った（前年度実績の80%未満）
- D…未着手、実施不可能、事業中止

評価不可…新規事業、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン配信等に変更したことにより数値化できない場合を含む

1 これまでの生涯学習事業の評価について

(3) 令和5年度実施事業の評価（一部抜粋）

事業名	事業概要	指標名	R 4 実績	R 5 実績	評価
新春子どもフェスティバル	2月第1日曜日に中央公園を中心に実施する。	参加人数	3千人	4.5千人	A
早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	子どもの基本的生活習慣の定着を図るため啓発等行う。	朝ご飯を食べている子どもの割合	84%	82.5%	B
二十歳のつどい開催事業	二十歳の青年が大人になったことを自覚するために開催する。	出席率	59.2%	62.9%	A
菊池寛及びその作品から学ぶ「寛学」事業	菊池寛の作品を通じて、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	市内小中学校実施率	100%	100%	A
広報高松による情報提供	毎月1日に「広報高松」を発行する。	-	-	-	-

市で策定している計画ごとに事業名が設定されるなど、統一性がない。

効果が測りづらい、設定が難しいケースもある。

2 今後における生涯学習事業の評価について

(1) 事業単位に関する基本的な考え方

事業単位について、本市の総合計画の施策体系に基づく、事務事業（施策目標を達成するための具体の事業）を基本とする。

(2) 評価対象事業

第3期教育振興基本計画における基本目標「家庭・地域とともに育む教育力の向上」、
「生涯にわたり心豊かに学べる環境づくり」に関連する、本市及び本市教育委員会において実施している事務事業に関し、令和6年度から同計画の見直しまで9年度の4年間で実施する事業を対象とする。

なお、成果を図ることが困難な取組（施設管理、情報発信など）のみを実施する事務事業は除外する。

2 今後における生涯学習事業の評価について

(3) 事業単位の具体的なイメージ

《令和5年度実施事業まで》

取組

事業名	事業概要
新春子どもフェスティバル	2月第1日曜日に中央公園を中心に実施する。
子ども会フットベースボール大会	9月に校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。
子ども会育成指導者養成事業	各校区の子ども会リーダー・育成者を対象に、講習会を開催する。
地域活動促進事業	子ども会が実施する研修会等に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。

《令和6年度実施事業から》

事業

事業名	事業概要
少年教育推進事業	子ども会活動の充実・発展のため、新春子どもフェスティバルや子ども会リーダー研修会等を高松市子ども会育成連絡協議会と共催で実施する。

※同じ目的の4つの取組を一つの事業
(事務事業)として管理・評価

2 今後における生涯学習事業の評価について

(4) 指標に関する基本的な考え方

指標については、行政の活動によって、どのような効果が得られたかを表す指標を採用する。また、各課が指標を設定する作業の重複を無くし、効率的に管理を行えるよう、事務事業評価の指標を基本とする。

(5) 指標の具体的なイメージ

事業名	事業概要	～R 5 指標	R 6～指標
二十歳のつどい開催事業	二十歳の青年が大人になったことを自覚するために開催する。	参加率（％）	式典に参加して将来への決意を新たにできた青年の割合（％）
少年教育推進事業	子ども会活動の充実・発展のため、高松市子ども会育成連絡協議会と共催事業で実施する。	参加校区（校区） 参加者数（人）	研修会に参加してリーダーの自覚が高まった児童の割合（％）
青年教育推進事業	青年教育の振興を図るため、関係団体の支援や、知的障がいのある青年が知識・技能を習得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者に対する理解を深める機会を提供する。	参加者の満足度（％）	知的障がい者への理解が深まったボランティアの割合（％）

2 今後における生涯学習事業の評価について

(6) 評価方法 (案)

令和6年度、7年度、8年度、9年度の成果指標に対し、達成状況に応じて、A～Cの3段階で評価する。

《評価の具体的なイメージ》

事業名	指標名	R 6			実施状況と今後の方針
二十歳のつどい開催事業	式典に参加して将来への決意を新たにできた青年の割合 (%)	目標	実績	評価	二十歳の代表者に決意を発表いただくことで参加者の意識の高揚に努めることができた。今後とも、成人としての自覚が高められるよう、式典内容の充実を図っていく。
		90	95	A	

(95/90)



達成率	80%以上	A
	60%～80%未満	B
	60%未満	C

取組内容を具体的に記入し、効果が得られた要因などについて、全庁で共有を図る。

3 今後のスケジュール（案）

時期	内容
令和7年1月下旬	生涯学習推進本部幹事会（今後の生涯学習の推進状況について）
2月上旬	生涯学習推進本部会（今後の生涯学習の推進状況について）
2月下旬	高松市社会教育委員会議（今後の生涯学習の推進状況について）
3月	評価対象とする事務事業の選定（各課照会）
5月	令和6年度生涯学習事業の実績確認（各課照会）
7月	生涯学習推進本部幹事会（令和6年度生涯学習推進事業について）
8月	生涯学習推進本部会（令和6年度生涯学習推進事業について）
	高松市社会教育委員会議（令和6年度生涯学習の推進状況について）

〔参考〕新計画における施策体系について

旧計画（第2期）（令和5年度まで）

基本目標	施策の基本方向
Ⅲ 子どもの安全確保	1 子どもの安全対策の推進

基本目標	施策の基本方向
Ⅳ 青少年の 健全育成	1 子どもの体験活動の充実
	2 青少年の健全育成の推進

基本目標	施策の基本方向
Ⅴ 家庭・地域の 教育力の向上	1 学校・家庭・地域の連携強化
	2 家庭及び地域の教育力向上の推進

基本目標	施策の基本方向
Ⅵ 生涯学習の 推進	1 学習機会の充実
	2 学習施設・機能の充実

生涯学習事業分野

新期計画（令和6年度から）

基本目標	施策の基本方向
Ⅱ 安全・安心で魅力ある教育環境の充実	4 安全で安心な教育環境の充実

基本目標	施策の基本方向
Ⅲ 家庭・地域と ともに育む教育力の向上	1 家庭・地域の教育力の向上
	2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
	3 青少年の健全育成の推進

基本目標	施策の基本方向
Ⅳ 生涯にわたり 心豊かに学べる環境づくり	1 多様な学習機会の充実
	2 生涯学習施設・機能の充実